

獅子山 レオ彦

登場人物紹介

セイント・ビヤクレン (V.o.) ロックンロール殉教聖人。

キヤプテン・ムラサ (D.r.) 海の男。碇の刺青が代名詞。

トラマル ヴァイシユラヴァーナ ショウ (G.t.) 危険な男。

ヨシフ・ナズーリン (B.a.) クールな智将。意外とお人好し。

スモーキー・フジワラ (K.e.y.) 紅一点。世話焼きのおばちゃん。

あらすじ

数百年の封印から解き放たれた超人・聖白蓮は、真の平和の道は音楽にあると悟りを開き、セイント・ビヤクレン・スーパースターへと生まれ変わった。これは、人妖の垣根を越えて平和を求めめる五人の男女が、音楽を通して絆を深め合い、そして真実を求めめる物語である。

「眠いビート刻んでんじゃねえぞオラアツ！」

トラマル ヴァイシユラヴァーナ ショウのパンチは雷撃の如く突然だった。ギターと演奏を投げ捨てて放ったパンチが、キヤプテン・ムラサの太い顎に突き刺さっていた。不協和音が無理矢理演奏を中断し、景気のいいサウンドは気まずい沈黙に打って変わった。

スモーキー・フジワラは肩をすくめ、愛飲する紙巻煙草に火を点けた。このスタジオは禁煙だ。ベーススト、ヨシフ・ナズーリンは知らぬ顔で自分のパートを繰り返して練習している。メンバーのいざこざなどいつものことだ。ライブ本番まで残り数時間の修羅場だったが、こういう時こそ不協和音はピークを迎えるものなのだ。

命蓮寺発、命知らずのR&R南無三バンド『U.F.O.』。結成当初から物議を醸し続ける問題だらけのこのバンドは、今日も今日とて派手な激突を繰り返していた。

「ジジイのファックみてえなりズムしやがつて！ オレ様のギターが気持ち良く鳴けねえじゃねえか！」

ショウが怒り狂って叫びを上げた。歌舞伎役者の如き限取を歪めて虎男が憤怒を浮かべる。騒ぎの発端はいつも通りこの乱暴者だが、今日のトラブルはいつもと毛色が違っていた。屈強なる海の男、ムラサの強烈なドラミングが明らかに精彩を欠いていたのだ。ショウがギターを床に投げ捨てて殴りかかるには十分な理由だ。

「……ああ、すまねえ。俺のミスだ」

「すまねえ、だあ!? ざけんなよオッサン！」

しかし、ムラサは覇気も無く謝罪した。果断の勇、ムラサらしくもないその態度が、ショウの怒りに油を注ぐ。ショウが求めるのは熱い